

第 29 回 BC 州日本語弁論大会

2017 年 3 月 4 日(土)

優秀作品集

BC 州日本語弁論大会実行委員会

この作品集は、参加者原稿を元に BC 州日本語弁論大会実行委員が編集したものである。

第 29 回 BC 州日本語弁論大会

日時: 2017 年 3 月 4 日 土曜日 午前 10 時分

場所: University of British Columbia

実行委員会メンバー: Rebecca Chau (UBC/ブリッティッシュ・コロンビア大学)

Ihwa Kim (UBC/ブリッティッシュ・コロンビア大学)

Noriko Omae (SFU/サイモン・フレーサー大学)

司会者: Elliott Cheung (UBC) and Kei-Tong Poon (UBC)

審査員: Ms. Tomoko Bailey (JALTA)

Mr. Daisuke Hanamura (Ritsumeikan University)

Ms. Akemi Takizawa (Killarney Secondary School)

Mr. Akio Taniguchi (Kiyukai)

Ms. Catherine Yamamoto (Riverside Secondary School)

Ms. Lisa Yasui (Richmond Secondary School)

Ms. Ritsu Muratake (Konwakai)

Ms. Maki Ode (UBC)

Ms. Seiko Roberts (Kwantlen Polytechnic University)

Mr. Toru Thomas Sano (Mitsui & Co. Canada Ltd.)

Dr. Yuko Shibata (UBC)

Dr. Christina Yi (UBC)

出場者:

「高校部門 初級」

1. Pin Yu Chen	極端な行為	The Extreme Behaviour
2. Anika Choi	私の貴重な夢	My Precious Dream
3. Christine Li	一期一会	Once in a Lifetime Chance
4. Yoanne Lin	優先席を怖がらない	Don't Be Afraid of Priority Seats
5. Julie Ma	社会からのプレッシャー	Pressure From Society
6. Amy Shao	なりたい人	The Person I Want To Be
7. Lily Wang	不幸の理由	What Causes Unhappiness?
8. Amy Wu	人生は公平ではありません	Life is Unfair
9. Salena Xu	最悪の日	The Worst Day
10. Hefan Zhang	忘れよう	Let Go

「高校部門 中級」

1. Ka-Yee Chu	共感力を求めて	Searching For Compassion
2. Estel Kim	主役は私	My Role
3. Kevin Xia	こころのきより	The Distance Between Hearts
4. Vector Wente Ye	ちゅうごくごとにほんご	Chinese Language and Japanese Language
5. Caitlin Zhang	数学の世界	The Mathematical World

「高校部門 オープン」

- | | | |
|-------------------|------------|---|
| 1. Alisa Blanc | 寄付 | Donation |
| 2. Fumika Noguchi | 日本の小学校での経験 | My Experience in Japanese Elementary School |
| 3. Yirun Wu | 花は散るのか | Is the Flower Going to Die? |

「大学部門 初級」

- | | | |
|---------------------------|------------|-----------------------------------|
| 1. Lena Chen | 理想と現実の間 | Between Ideal and Reality |
| 2. Jesse Hawker | なぜ日本語 | Why Japanese? |
| 3. Elizabeth Hsiao | もう伝えられない言葉 | If I See You Again |
| 4. Kristine Hui | 意味 | The Meaning |
| 5. Nita Law | 私のことについて | Something About Me |
| 6. Mason Leung | 料理を通じてすること | The Things You Learn from Cooking |
| 7. Clover (Shyue-Wan) Nyi | 父のラブストーリー | My Father's Love Story |
| 8. Darren Snider | 忍の一字 | Patience is the Only Way |
| 9. Marina Trinca | ベジタリアン | Vegetarian |

「大学部門 中級」

- | | | |
|----------------|--------------|-----------------------------------|
| 1. Kevin Chou | ご馳走様でした | Thank You for the Meal |
| 2. Jack Hwang | その壁を越えてみよう | Step Out of the Wall |
| 3. Sheryn Liao | 明るい町はいいでしょうか | Is it Good to Have a Bright City? |

- | | | |
|--------------------|-----------------|---|
| 4. Rachel Marchand | 一年間分の友達 | One Year's Worth of Friends |
| 5. Jana Salameh | 女性にとって結婚は大変 | For a Woman Marriage is a Serious Thing |
| 6. Aalam Sandhu | 恋は一番の幸せ | Love is the Best Happiness |
| 7. Liping Zhang | カルチャーショック:AとC | The Culture Shock: A and C |
| 8. Lois Zhang | 愛があれば言葉なんて要らない？ | Love is the Only Language You Need? |

「大学部門 上級」

- | | | |
|-------------------------|--------------------|---|
| 1. Duston Baranow-Watts | 美術を守るべき | We Must Protect the Arts |
| 2. Cynthia Carty | 息子のための嘘 | A Lie for My Son |
| 3. Conan Chu | 地平線の向こう | Beyond the Horizon |
| 4. Carmela de Torres | 多様性の重要性 | The Importance of Diversity |
| 5. Kevin Reynolds | 液状不安:トランプの政治的成功の本質 | Liquid Fear: The Essence of Trump's Political Success |
| 6. Yu Zhao | 美 | Beauty |

「大学・一般部門 オープン」

- | | | |
|------------------------------|--------------|---|
| 1. Jeremy Sit | 400 円の感動 | Inspiration of 400 Yen |
| 2. Anastasia Vinogradova | 十分日本人じゃない？ | Not Japanese Enough? |
| 3. Selina Yamagishi Letargua | 環境問題と向き合うべきだ | Facing Environmental Issues |
| 4. Jessie Yang | 人間やめますか？ | Would You Like to Quit Being a Human Being? |

入賞者

「高校部門」

初級部門	第1位	Hefan Zhang	忘れよう
	第2位	Amy Wu	人生は公平ではありません
	第3位	Pin Yu Chen	極端な行為
中級	第1位	Caitlin Zhang	数学の世界
	第2位	Estel Kim	主役は私
	第3位	Kevin Xia	こころのきより
オープン	第1位	Alisa Blanc	寄付
	第2位	Yirun Wu	花は散るのか
	第3位	Fumika Noguchi	日本の小学校での経験

「大学・一般部門」

初級部門	第1位	Mason Leung	料理を通じて知ること
	第2位	Marina Trinca	ベジタリアン
	第3位	Darren Snider	念の一字
	特別賞	Jesse Hawker	なぜ日本語？
中級	第1位	Jack Hwang	その壁を越えてみよう
	第2位	Aalam Sandhu	恋は一番の幸せ
	第3位	Lois Zhang	愛があれば言葉なんて要らない？
	特別賞	Rachel Marchand	一年間分の友達
上級	第1位	Cynthia Carty	息子のための嘘
	第2位	Conan Chu	地平線の向こう
	第3位	Kevin Reynolds	液状不安:トランプの政治的成功の本質
オープン	第1位	Jeremy Sit	400円の感動
	第2位	Anastasia Vinogradova	十分日本人じゃない
	第3位	Jessie Yang	人間やめますか？

忘れよう

みなさんこんにちは。私はエリックハンバー高校 十年生の張鶴凡です。私のスピーチを始め前に一つ問題があります。

あなたにとって特別な人はいますか？私にとって、その人は私の初恋の男の子です。私は彼とであい、わかれ、そしてまた出会う、その繰り返しを続けていました。でもこれからのわたしたちのものがたりはつづけられるのでしょうか？最悪のけっかでしたら、ふたりはこれからいっさいあわなく、知らないふりをして、自分の人生をすごしていくのでしょうか。それでもあの人の笑顔は、ずっと私の心の奥ふかいところにきざんてあります。その記憶は燃える炎のように、時には私をおびやかす、時には私を暖かく見守る。

私はいつも”彼と一緒にやりたいことはいっぱいあるのに、いまさら言っても、もう遅いな。”っと自分に言います。今でも彼との思い出がうかぶと、なぜか涙がかってにおちてきます。

人生は長いですが、どんなにつらいことでも、時間とともに消えてゆきます。私の母親はこういいました。だから私は彼についての過去をわざとすぐに忘れる必要がないと思います。それでも、私は彼を五年もあいしつけました、そしていまは、一生をかけて少しずつ忘れようとしています。

”もう五年ですか？あなたは彼を本当にわすれられますか？”

”はい、できます。”

人は自分のできないことをむりやりにやろうとしないで、物事(ものごと)は結果がないと悪いわけでもないです。記憶(きおく)の中でのくるしむよりも、少しだけでもあったその楽しみを抱いて、人生を歩む方が何千倍もかっこいいと思います。こうすれば、いつかには、きっと自分の幸せを見つけることができます。

私のスピーチはここまでおわります。ごせいちょうありがとうございます。

人生は公平ではありません

皆さん こんにちは、私はリッチモンド高校の生徒で名前はエイミです。みなさんの周りにはこんな人がいませんか。普段たくさん食べているのに、全然太らない人。それとも、普段ぜんぜん勉強していないのに、成績が良くで頭がいい人。自分がずっと欲しかったものを簡単に手に入れられる人。ちっと前まで、私もよく自分をその人達に比べました。でもよく考えたら、他の人と比較するのは何も解決できません。なぜなら、私達の周りには私達の醜い嫉妬を漏らす人があまりにも多いからいつになっても比較する相手が消えないでしょう。それがこのスピーチと書くきっかけです。

そのような人を見るたびに、世の中の不公平を感じさせられる。みんなおなじ人なのに、それほどの差別がありますね。そもそも、この世に公平と呼ばれる事がありますか。かんがえたら、その公平も不公平も人生のいちぶではないですか。私の周りには才能を持つ人がたくさんいます。私も時々羨ましいですけど、改めて考えると、他の人と比べる事はあまり良くない。自分自身は出来る事を出来るだけ頑張ります。それ以下満足できないんですがそれ以上も期待できません。もし、人生の流れがあまりにもなめらかであれば、その人生がいきがいのある人生でしょうか。

みんながその不愉快な事の中でなにかを学ぶのはどうでしょう。いつも文句を言うより、もっとオープンな心で世の中の不公平の事を見たらどうでしょう。私達がいつもぎせつと戦って、いきている。そのぎせつを乗り越えて、頑張りましょう。人生の不公平にたいしていつも誰かを責めるより、世の中には不公平な事があるという事実を気にせず、学びたい精神で向かうのなら、それは立派な大人になったあかしでしょう。だから、皆さんも負けないで、この不公平だらけの世の中で頑張りましょう。

極端な行為

108人。世界で六十秒。そうです、1分間に108人も死んでいます。死亡の理由は事故、病気、自殺、他殺などです。でも、皆さんは考えたことはありますか。どうして人は自殺をするのでしょうか、なぜ、人殺しをするのでしょうか。調査によると100000人のうち6人は心に病気を持っています。そして、40秒に一人が自殺します。最近日本のニュースでむりしんじゅうや子どもが親を殺す事件がありました。自殺も他殺も、これらの行為は極端な行為です。

私は、毎日ニュースをよみます。ある事件が1997年に起こりました。今思い出すと、とても怖いです。おぼえている人もいると思います。リーナバークは14歳の女の子でした。ある日、リーナはパーティーの招待状を受け取りました。1人で友達の家に行く途中のある橋の近くに女の子が6人いました。その6人はお酒をのみながら、タバコを吸っていました。リーナを見て、彼女の方に向かって行って、彼女をさんざんいじめました。それから、リーナが死ぬまで、ずっと彼女のあたまを川にしずめました。彼女はとても苦しかったと思います。結局、そのうちの女の子3人はけいさつにたいほされました。このような事件はおこっては、いけないことです。

では、どうして彼女たちはこのような極端な行動に走ったのでしょうか。その人たちには自分の気持ちを相談できる人がみじかにいなかったのかもしれませんが。彼女たちは自分に自信がないから人をいじめたのではないのでしょうか。精神状態があんていしてない人たちはまわりのサポートがとてもたいせつです。まず、家族にたよって信頼のある友達をつくらうと思います。それから、心理セラピーを受けて、自分のことをよく知っていくといいでしょう。もし、もうすこし早く信頼のある友達にたよって、医者相談していればリーナバークがころされたような怖い事件は起こらなかったと私は思います。

極端な行動をする前に自分の行動がどのようなけっかをあいてにあたえ、そして周りの人々の気持ちを考えて、本当にその行為をおこなうべきかどうか冷静に考えてほしいです。

数学の世界

私は、数学が大好きだ。数学の世界の中では自由になれる。限りがない、無限に広がる領域を探索し、走っている限り、私はどこまでも自由な鳥のように、笑顔で居られる。私は大きな建物の中、曲がりくねった渡り廊下を迷走し、数字や番号が書いてあるドアを次々と開けていく。数学の領域の中、新しい光景を見るたびに、現実世界の醜い束縛の痕跡が消えていく。私は数学の世界が大好きだ。

でも、現実には残酷なものだ。数え切れないジェンダーバイアスがあるこの世界はちょっと残念だと思っている。性別の違いによる偏見は呪われた幽霊みたいに、永遠に消えない。女らしさや女々しさは大体同じもの、でも意味は真逆。男女の平等はまだ存在していない。「女子は文系にいるべきよ。だって、女らしさってそういうものでしょ！」と言っている人も多く存在している。学校の物理クラスは、女子が圧倒的に少なかった。

社会は常に、見えない価値観を女子に無理やりに与えている。うまくやっていくために、女性たちは男性社会のルールに従わなければならない。女の子の私は数学を好きになってはいけない。そのくだらない偏見を、私は認めない。

私は、妥協することをやめた。吹奏楽に入った時も、先生は多くの女子にフルートやオーボエを薦めた。「なぜなら、あなたたちは女の子だから、女らしい楽器を演奏するべきだ。」と主張した。でも、反逆者の私は、チューバやユーフォニアムを選択し、低音部に入った。なぜ女の子は、数学を好きになってはいけないの。私は数学を追求し、女数学者になる。ジェンダーバイアスの壁は、才能や努力で倒して見せる。

私みたいな女性が徐々に存在感を示し始めている。これから、偏見に出会ったら、誰でも声に出して指摘すべきだ。そうしなければ、さらに多くの女性が苦しむことになる。こうした状況が改善されていけば、現実世界も数学の世界みたいに、束縛がなく、きれいになれるかもしれない。

ご静聴ありがとうございました。

主役はわたし

いま私のおさなじみのロイは、とくべつなせい少年キャンプにはいっています。そして 家族とはなれてくらしています。ロイは、まやくかんじゃです。私は 小学校 1 年生のとき カナダ に、彼は小学校 5 年生のとき アメリカ に いじゅうしました。ロイは 新しい 学校 せいかつ に てきおう できず、まやく を する 友達 としたしくなり、高校 1 年で 学校を ほうき してしまいました。

じつは彼がとくべつではありません。北アメリカの高校では、どこでもまやくのもんだいがまんえんしているのです。二千十二年のちょうさによると、37%の高校生たちがまやくを使ったことがあるとっています。そしてその73%の高校生のおもなりゆうが、学校のストレスから、まやくをしようするようになったといます。

ある友達 の パーティー での こと でした 。知らない 人も 沢山 いたし お酒も あり ました 。数人 の人たちが、外 で まやく を しよう と いて きました 。いくら こと わっても、「おもしろい し、一ど ぐらい なら、なんて こと は ない。」と さそって くる のです。

何人かの 友達 は、その 誘惑 に ませ、外に 出 ました 。私は こと わり、帰りました。それ いらい、その グループ とは つきあわ なくなりました。

どうして ふうの 学生 たちが まやく を 悪い こと と 知りながら も 手を出して しまう のか 。.カウンセラー や 友人 に 聞いて みると、学業の ストレス、家族 かんけい の もんだい、両親 との 会話 ぶそく、友達 から の 誘惑、人生 への むなしさ や 寂しさ のため など と いて いました。まやく に たいする こうき しん や、しばし の 寂しさ を カバー しよう と して 中毒 になる そうです。しかし、一ど、この 道 に入ると、もどる のは 簡単 ではない のです。なんとか ストレス を 自分 の 趣味 に、ぼっとう すること や、ボランティア かつどう を する など して コントロール できれば、この よう な 誘惑 を きよぜつ する こと も できる のです。また、つらい とき に 先生 や 両親 との たいわ を つうじて えんじょ を うける こと も できる のです。

あのおさなじみのロイはいまキャンプで、まやくの悪い記憶を消し、人生をしゅうせいしよう とが んばって いる そうです。早く におって 自分 の 夢 を ロイ と むかし の よう に は なし たい です。

いっしゅん の 誘惑 に ませること から 未来 が かわって しまう こと を 私 たちは しらな ければ なりません。自分 は 自分 じしん で まもら なければ なりません。自分を まもっ て いく 力は 私 たちが みずから そだて なければ けません。自分 の 人生 の 主役 は 自分 なの ですから。

心の距離

おはようございます。今日は、テクノロジーが人と人との距離に及ぼす影響についてお話ししたいと思います。

2008年に私は北京を離れて、父とバンクーバーにきました。家庭の事情で母は北京に残りました。母と離れて暮らすのは寂しくて大変でした。テクノロジーが進化し、Eメール以外にもスカイプや WeChat で、無料通話やビデオコールができるようになりましたが、実際には母との距離が縮まったわけではありませんでした。ビデオ通話は、たいてい座った状態でしますから、見えるのは頭から胸くらいの範囲だけです。相手のボディランゲージが伝わりにくいというのも一因かもしれません。UCLA の面白い調査結果があります。「Silent Messages」の著者、Mehrabian 氏によると、コミュニケーションの 93%は非言語コミュニケーションなのだそうです。つまり私たちは、身振り手振り、声のトーン、視線、スピードなど、言葉以外でコミュニケーションしているということです。ビデオ通話で相手との距離が縮まらない理由は、会って話す時と比べて、これらが十分に得られないからなのだと思います。

私には8歳年上のいとこがいます。昔はよく一緒に遊んでいました。でもそのいとは Facebook をしません。8歳違うだけなのに、使っているメディア媒体が違うのです。どうやって連絡すればいいのかなと一瞬考えてしまいました。私はよく WeChat を使いますが、韓国人の友達は KakaoTalk を使っています。日本人の友達は、LINE を使っています。色々なアプリがあって便利そうに見えますが、実際はそれぞれのアプリを使う人の年齢層や国籍が微妙に違うのです。そのせいで、同じアプリを使っている、一部の狭いコミュニティの中でしか話をしていないということに気づきました。テクノロジーが進化しても人との距離が縮まったというわけではなく、逆にコミュニケーションする人の幅を狭めているのではないのでしょうか。

最後に、みなさんにお聞きしたいです。テクノロジーが進化している割には、人との距離を感じませんか？ これからもっと進化していったら、どうなると思いますか？ コミュニケーション方法がさらに多様化していけば、将来はある言語を話すか話さないかくらい大きな差が出てしまうのではないのでしょうか。そして、もっともっと人と人との間に距離ができてしまうのではないのでしょうか。それは、果たして進化なのでしょう。

ご清聴、ありがとうございました。

寄付

みなさん、世界寄付指数をご存知ですか。イギリスの「Charities Aids Foundation」が、全世界 140 カ国で、寄付やボランティア活動についての調査をおこなった結果を指数にしたものです。2016 年 10 月に発表された世界寄付指数ランキングによると、3年連続でミャンマーが1位でした。2位はアメリカで、そのあと、オーストラリア、ニュージーランド、スリランカと続きます。ミャンマーでは「施しが来世の幸福をもたらす」という考えが日常的に根付いているそうです。アメリカでは、子供の頃から学校や教会を通じて多くの寄付の場があります。

日本は、毎年順位を下げ、2016 年は 140 カ国の中で、なんと 114 位でした。このまま下がり続けると、世界最下位になるかもしれません。他人への思いやりを大切にしている日本が、どうしてこんなに低い順位なのでしょう。私なりに理由と対策を考えてみました。

まず、日本人の国民性です。これ見よがしに、他人への思いやりを積極的に表現するのは、日本人が美德としていることではありません。名前を伏せて、匿名で寄付をするような、奥ゆかしい国民性があります。

次に税金制度です。アメリカではどんな寄付でも、税金の一部を免除してもらえます。日本では国が指定した自治体でないと、寄付ができないだけでなく、受け取る側に税金がかかってしまいます。税金を国に払い、国を通して必要なお金を配分するというのが、日本のやり方です。でもこのやり方では、あまり実感がないと思います。なぜなら、自分が払った税金が、使って欲しい場所に使われているかどうか分からないからです。税金は税金、寄付は寄付と、はっきり分けた方がいいのではないのでしょうか。

2008 年に始まったふるさと納税は、愛するふるさとへのいい寄付だと思います。使い終わったランドセルを発展途上国の子供に送るというのも、素晴らしいアイデアで、私も是非やりたいです。日本には他にもユニークな支援団体がたくさんあります。それらを、もっともっと知ってもらえたらいいなと思います。

私は去年初めてヘアドネーションをしました。がんで髪をなくした子供にカツラを提供するための髪の寄付です。それから、Plan International Canada を通じて、援助が必要なベトナムの女の子のスポンサーになっています。その女の子から写真や手紙が届く時、このプログラムを支援して本当によかったと思います。寄付は奥ゆかしく隠さずに、どんどん知らせていいのではないのでしょうか。私のこのスピーチで、寄付に対する意識を変えてくれる人がいたら嬉しいです。あの人も寄付をしたから、私もやってみたい。みんなと一緒に寄付をして、人を助けたい。日本人が得意な団結心が、寄付への輪をどんどん広げていくことを願います。そして今年のランキングが、少しでも上がることを楽しみにしています。次の世代に遺したいものは、お金だけではなく、いい社会だと思います。そのために、高校生の私たちでもできることはたくさんありますし、これからもたくさん作り出せると信じています。

落語心中？花は散るのか？

7月の新宿はまるで蒸し風呂のようだ。その日末広亭で落語と漫才を聞く予定が入って、私は嬉しい気持ちを抑えきれなかった。久しぶりの日本、久しぶりの寄席。

幕を開けると、そこに着物を着ていた噺家は高座の真ん中に正座し、ゆるりと話し掛けていた。三味線方は聞き覚えがある曲を弾いていた、「お江戸日本橋」。いい席を予約したおかげ、太鼓の音が良く聞こえる。休日の寄席、人が多いはずと思ったが、そうでもなかった。ネタで観客が笑っているのに、何故かその笑顔はうっすらと孤独に見えてしまい、私はつい深く考えてしまった。

落語は江戸時代の日本で成立し、現在まで傳承されている伝統的な話芸の一種である。能や歌舞伎など他の芸能と異なり、服装や道具に頼ることは比較的少なく、一人で何役も演じ、語りのほかは身振りのみで物語を進む、高度な芸能を要する伝統芸能です。都市に人口が増えたことによって、落語は大衆のための芸能として成立した。1945年、世界大戦がようやく幕を下ろし、笑いに飢えた客が落語を求め、ラジオで全国的なブームを巻き起こした。桂亭、三遊亭、柳亭、様々な流派が競争しながら観衆に最高の笑いを届けた。それは名人たちによってなされた「黄金時代」の到来だった。

ところが情勢は急に一転した。昭和三十年代以降、高度な経済成長で人々のライフスタイルが大きく変わった。長屋、井戸、廓話の舞台である吉原もなくなった。生活の中から落語の存在がどんどん薄れてゆき、落語は身近なものではなくなってきました。気楽に笑う落語でなく、古典として鑑賞される落語は時代物語が多かった、そのため理解し難い処もありました。もちろん落語で現代を語る新作落語を創作して生きる道もあったが、やはり知らないうちに、人々は落語から遠ざかっていた。

同時期に漫才ブームが始まって、「若井はんじ、けんじ」や「今いくよ、くるよ」などの漫才コンビは次々と結成し、テレビの舞台で輝き始めていた。ボケとツッコミのコンビは重苦しい古典落語より人気があった。しかしながら、漫才には歴史の重みを実感しないのである。一概には言えないが、同じ素材でも、味付け次第で食感が変わるし、客の反応もまた異なる。落語もそうである、たとえ漫才と同じ話題を語ろうとしても、噺家の言葉え使い、演じ力によって、字句の間により深い意味を含んでいる。そこが落語が漫才と一線を画している処だと思うが、若い世代が落語の面白さを知らないのはとても残念なこと。

目を閉じると、そこに世界があった。出会いは一つ形を変える、見失った自分を騒々しい世の中から抜け出して、一度寄席へ来てください。きっと見つけるでしょう、貴方だけの光を。

日本の小学校での経験

私はカナダの小学校五年生が終わった後、母と姉と一緒に母が育った日本に行きました。九月に行ったので、カナダでは学年が始まったばかりですが、日本は二学期の途中でした。私は学校を続けるために、九州の福岡県にあるなかお小学校に通うことになりました。カナダで育った11歳の私は、日本人の母のえいきょうで日本のテレビやアニメを見て、日本の文化をなんとなく知っていましたが、実際の経験は想像したものとはちがっていました。

小学校高学年から中学校にかけては、人生の中で大人へと成長して行く大切な時期です。その時期に受けた日本の厳しい学校のしつけがなければ、今の私はにんたい力とれいぎただしさのない高校生になっていたかもしれません。

カナダと比べて日本の学校はかなりちがっていました。カナダでは、もっと自由な学校生活でした。女子生徒たちは自分の好きなファッションで、耳のピアスなど、日本の学校ではいけないアクセサリーをつけていました。他にも、家からのおやつを授業中に食べたり、いつでもお手洗いに行くためにせきを立ったりしていました。小学校の宿題やテスト勉強はあまりしなくても、先生から厳しくしかられませんでした。通学も毎朝母が車で学校まで送りむかえしてくれるので、楽でした。

日本で、まず第一におどろいたのは、生徒全員で毎日ぞうきんを使ってろうかをふいたり、トイレをみがいたりしなければならなかった事です。また、学校で作られたえいようたっぷりの給食を好ききらいせず、残さず食べたり、あいさつをきちんと毎日したり、先生の言うことをまじめにだまって聞く事などです。日本の学校は勉強だけではなく、毎日の生活で重要な事を教えてくれました。学校を自分の手で掃除するので、家や自分の部屋などをきれいにするようになりました。給食を全部残さず、一日に必要なえいようについて習いました。あいさつや年上の人をうやまうことを習って、自分より立場が上の人をそんけいするしゅうかんをつけました。重いランドセルをせおって毎日学校に歩いて行くのは最初はとてもつらかったけれど、今思えば友達と話しながら歩いたことはいい思い出になっています。

もし日本で暮らした数ヶ月がなければ、日本人としてのマナーやしゅうかんを、身を持って体験し、理解することはできなかったかもしれません。カナダでの小学校の最後の学年を友達と過ごせなくて残念でしたが、その代わりになる、一生心に残るきちょうな時期でした。

この日本での経験のおかげで、私の日本人としてのアイデンティティがめばえたような気がします。またいつか、日本に長くたいざいするチャンスがあれば、日本の文化や日本人についてもっと理解を深めて行きたいと思っています。

料理を通して知ること

皆さんこんにちは、私はレアンメイソンともうします。皆さんは趣味がありますか。このごろ、世界には趣味がたくさんあります。いろいろなスポーツをしたり、新し物を食べてみたり、日本語を習ったりするなど、この世界は多文化の世界になりましたね。私もいろいろな趣味に興味があります。特に、ギターやゲームが好きですが、私の一番好きな趣味は料理です。でも、料理とは何でしょうか。

人が料理という言葉聞いた時、たいてい一番初めに思い浮かべるのは作られた物だと思います。でも、料理はそれだけではありません。材料を買って、友達と家族とに作るために、新しい作り方を考えてみます。これは料理じゃないみたいですが、じつは、これも全部料理の一部です。料理を通して知ることがたくさんあるので、美術のように複雑だと思います。

料理は楽しい経験になるので、いつもしてみます。でも、作った後に、食べるのが一番楽しみです。苦心と努力で作った物を、やっと楽しめますね。但し、自分が食べるより友達と家族が食べるのを見るほうが私は好きです。美味しいと言ってくると、本当に嬉しくなります。だから、もっと料理が上手になりたいです。

私がよく作る料理は麻婆豆腐です。麻婆豆腐は簡単で、とても美味しい中国から来た料理です。たいてい豆腐や豚肉を使って、ピリ辛のソースと料理します。ご飯と一緒に食べると、完璧ですよ。それに、麻婆豆腐は多文化の料理です。例えば、私は時々シイタケを切って、豆腐と豚肉と一緒にいれます。そして、韓国の豆板醤も入れると、ちょっと甘くなります。そうすると、麻婆豆腐は中国と日本と韓国の料理になります。よって、麻婆豆腐はいろいろな国の材料を入れられる料理です。

結論として、料理は食べ物だけじゃないと思います。作っている時、皆の嬉しそうな顔を考えるのも料理です。それから、世界にはいろいろな国の料理があるので、料理は多文化のつながりを作る道具として使えます。料理は世界の人々がわかる言葉です。料理は楽しい経験を作れます。料理は、料理は、料理は... 私の一番好きな趣味です。じゃあ、皆さんもいっしょに料理しましょか。

ベジタリアン

私は二ヶ月まえにベジタリアンになりました。肉や、牛にゅうや、たまごも食べるのをやめました。なぜかという、動物をころしたくないからです。動物は、痛みをかんじます。していますか？一年で、560おくの動物が人間の食べ物になるために、殺されます。それから、牛がぎゅうにゅうをだしつづけるために、赤ちゃんを生んだあと、人間はあかちゃんをお母さん牛からとりあげるんです。たくさんの動物は、小さいおりのなかに住んでいます。ぜんぜんうごけないんです。すごくかなしいと思います。肉と、動物のふくさんぶつを食べなかつたら、動物がくるしまないだけでなく、自分のけんこうにもいいです。

ベジタリアンになってから、いつも元気で、もっとヘルシーになりました。いつもにこにこしていられます。前に比べて、もっとやさいとくだ物を食べています。たとえば、きのうは、アボガドときゅうりののりまきと、とうふのぎょうざと、コロッケとサラダを作りました。いろんなレシピをためしてみたり、あたらしいスパイスを入れてみたりして楽しんでます。しょくぶつだけたべる人は、しんぞうびょうやがんになるリスクがひくくなります。私の友だちのほとんどは、ベジタリアンです。いっしょにご飯を作るのが楽しいです。

ベジタリアンになれば、かんきょうもよくなります。動物ののうじょうを作るためには、森の木を切らなければいけません。森林ばっさいで、自然の動物の家がなくなります。動物のはいき物が川のなかに入って水をおせんします。たくさんかんきょうのドキュメンタリーがあります。それを見たら、どのくらい肉がかんきょうにえいきょうをあたえているのかわかります。

私は、動物とかんきょうを守るためにベジタリアンをつづけるつもりです。

忍の一字

皆様 はじめまして。私ダレンスナイダーと申します。今日は私の経験についてお話したいと思います。はじめ私はずかしがりやでした。教室で後ろのすみに座って、あまり話しませんでした。先生が話している時、全然わかりませんでした。だから聞くのがだめなんだと思っていました。時々、先生が私に質問すると、きんちょうしてしまい、答えられなくて、はずかしくなりました。いつもひらがなを読むのに困りましたから毎回テストができませんでした。

今三年間日本語勉強しています。まだまだ流暢ではありませんが、少しずつ上手になってきていると思います。聞いて理かいするのはむずかしいですが、書くのと読むのはとくいです。勉強している時、よく挫折してもう日本語の勉強をやめたくくなります。文法の説明は本で読むと簡単に見えますが、自分一人で見ると、とてもむずかしいです。「ああ、だめだ。もう全然わからない！」

答えがわからなくて、とほうにくれてしまうことがありました。まちがえてばかりいましたから、何回もあきらめたかったです。頭をかかえたくなることもよくありました。でもたいてい時間がたつと、がんばって勉強したくなりました。そのうちに変わっていく自分に気がつきました。こんなに長く一つのことに打ち込んだ事はありませんでした。でも、今はにんたいづよく一つのことに取りくみ、がまんして目標を達成するためにがんばることを学びました。もしがんばって続けていなかったら、今ここで皆さんの前でお話ししていなかったでしょう。何もしなければ、しっばいもしません。でも、成功することもできません。失敗は成功のもとという言葉がいまならわかります。

日本語はおもしろくて楽しいと思います。しょうらい、英語を教えに行きたいと思っています。ぺらぺらに日本語が話せるようになりたいです。今度日本に行ったら、もっと色々な人と話して文化や考えも学びたいと思います。人生は知らない所をたびする様なものですね。自分が日本語を勉強しなくなるとは、つゆほども思っていませんでした。

その壁を越えてみよう

みなさんには、自分の好きな場所や居心地のいい場所にばかりいて、そこからは出たくないという気持ちがありますか。そんな気持ちがあるのなら、「進撃の巨人」という漫画をおすすめします。

「進撃の巨人」は、巨人と壁と人類の話です。巨人が人間を食べるから、人間は高い壁を作って巨人を壁の外に隔離しました。人間は外の世界を知らなくてもいいし、壁の中の狭い世界を楽しんでいます。しかし、主人公のエレンは他の皆とは違います。壁の外の広い世界を知るために、その壁を越えたがっています。

三年前にカナダに来た時、私はこの漫画を読みました。その当時、私はとても内向的な人間でした。カナダで新しい学校に行きましたが、周りの皆が怖そうなので、誰にも話しかけたくありませんでした。毎日クラスが終わると、すぐに家に帰って、フェイスブックとユーチューブの壁の中に隠れていました。私にとって、「巨人」は壁の外にいるすべての人でした。

しかし、「進撃の巨人」を読んで、私の考えは変わりました。主人公の勇気と意志の強さに感動して、自分の狭い世界から抜け出さなければと思うようになりました。そして、外の世界を知ることが私の目標になりました。その目標を達成するために、私は思い切ってレストランでウェイターのアルバイトをすることにしました。

人生初めてのアルバイトで私はとても緊張しました。最初の日、同僚やお客さんに話しかけられても、小さい声で返事をするのが精いっぱいでした。私には皆が巨人のように思えて、とても怖かったのです。休憩の時、私はトイレに行って泣きました。やっぱり壁を越えるのは無理なんだ。こんなことは私にはできないんだと思いました。でも、ここでやめたら何も変わりません。現実の世界は、フェイスブックやユーチューブではないのですから。ずっと壁の中にも何もできないと自分に言い聞かせました。

一週間ぐらいたったある日、トムという同僚に話しかけられました。それから、トムとよく話すようになって、友達になりました。トムも「進撃の巨人」が好きで、自分の壁について教えてくれました。トムは、怖くて運転ができなかったのです。でも、トムが住んでいる所は不便で、車がないとどこへも行けません。だから、トムのお父さんは、彼に毎日運転の練習をさせたそうです。「最初はいやだったけど、少しずつ運転ができるようになったんだ。勇気を出してあきらめなければ、少しずつできるようになるよ」とトムに言われました。

トムの話を聞いてから、私はいろいろなボランティアにも参加するようになりました。最初は大変でしたが、あきらめないで続けました。トムが言っていたように、だんだん人と話すのが怖くなくなっていました。今の私は、台湾クラブの幹部で、他の部員と一緒にイベントを行うなどして、毎日を楽しんでいます。今振り返ると、壁を越えて自分の狭い世界から抜け出して、本当によかったと思います。

皆さんには自分の壁がありますか。あつたら、勇気を出してその壁を越えてみませんか。壁の外には今まで見えなかった世界があるはずです。今、私は新しい壁を越えることに挑戦しています。それがこの日本語でのスピーチです。この壁の向こうに、どんな新しい世界が待っているのでしょうか。

ご静聴ありがとうございました。

恋は一番の幸せ

みなさん、恋をしていますか。恋はわかい人のいのちです。私は、恋が好きです。自分の恋も友達も知らない人の恋も好きです。時々、人々はすぐ恋に出会います。でも、時々、恋はゆっくり来ます。恋はむずかしいです。一方が好きでも、もう一方が好きではないことも多いからです。

それでも、恋は、とてもふしぎです。人は恋に落ちた時、いつもその人と話したくて、気持ちを伝えたいですが、好きな人の気持ちが分かりませんから、こわくなります。恋に落ちた人は、気持ちを伝えるかどうか、いつも考えています。もし好きな人に気持ちを伝えたら、その人は「いいえ」と言うかもしれません。でも、もし「はい」と言ったら、うれしすぎます。二人の気持ちが分かり合えるからです。私も気持ちを伝えたことがあります。そして、私もストレスがありました。でも、伝えた後で、とてもうれしくなりました。好きな人も私と同じ気持ちでしたから。

恋人になったら、二人はとてもうれしいです。なぜなら、恋は人を楽しくさせるからです。恋人と会えると、ときどきしてモチベーションが あがります。

ロゼンフィールド・ジョーダンによると、頭には恋のケミカルがあるそうです。

かがくしゃは、恋人の頭の中をけんきゅうして、ドーパミンやオキシトシンなどの

色々なケミカルを見つけました。そのケミカルのおかげで、心も頭も元気になります。恋をすると、いつも好きな人と会いたいです。

そして、恋人と会うために勉強も仕事もがんばります。私は、週末(しゅうまつ)にデートをしたいので、それまでにしゅくだいを終わらせますよ。そして、かれしとかのじよはいつも笑っていますから、二人を見ている他の人もうれしくなります。恋のケミカルは恋人をうれしくさせるから、人生は明るくなります。いっしょにデートして、恋人の幸せは自分の幸せになります。恋は、人の心をつなぐ橋(はし)だと思います。

でも、けんかをした時はたいへんです。心がいたいし、恋が信じられません。

時々、その後で二人の恋はもっと強くなります。でも、時々、その恋はこわれて

しまいます。その時、心がとてもいたくてくるしいです。時々、人生にぜつぼうします。「かなしい、くるしい、ぜつぼう、いかり」、それはこわれた恋の気分です。でも、人はあきらめないと思います。恋は時々つらい時もあるけれど、人生で一番の幸せな心をそだてるイベントだと思います。

私もかわいい女の子と恋に落ちたことがあります。ぜつぼうやいかりもかんじました。でもポジティブになって、もっと強い恋を見つけました。私は、今、恋をしていますから、いつもうれしいです。恋は色々な気分をかんじさせてくれるから、人々は、自分を探すためにも、恋が必要です。恋は 人を強くするんです。さあ、幸せな恋がしたくなりませんか。

愛があれば言葉なんていらない？

私には日本人と韓国人のハーフの彼氏がいます。去年の夏休み、その彼が中国に遊びに来てくれました。私は彼に、両親と祖父母を紹介しました。その当時、彼は中国語の勉強は始めていましたが、まだあまり上手に話せませんでした。

まず最初に、みんなで晩御飯を食べましたが、あまり会話が弾みませんでした。私は心配になりました。晩御飯の後、父が突然「麻雀をしよう」と言い出しました。でも、彼氏は中国語がわからないし、麻雀のルールも知らないのです。私は彼のことが心配なので、「私たちは見ているよ」と言おうとしました。ところが、彼氏は「僕、やってみます」と言いました。

彼は、私の祖父母が麻雀が好きなのを知っているので、頑張りました。ルールがわからない時は、彼が私に英語で質問をして、私がそれを中国語で家族に聞きました。そんなわけで、なかなかゲームが進みませんでした。訳している間、両親と祖父母はにこにこしながら待っていました。言葉は通じませんでした。が、彼は私の家族との麻雀を楽しみました。

この様子を見て、私は言葉が違っていても、愛があればコミュニケーションが可能なんだということに気がつきました。私の家族は、私のため、そしてお客様である彼に楽しんでもらうために、辛抱強くいろいろと教えてあげていました。彼氏も、好きな人の家族を知るために、言葉がわからなくても一生けんめいコミュニケーションをとろうとしていました。お互い愛があったから、言葉が通じなくても、一緒に楽しい夜を過ごすことができましたのです。

では、愛があれば言葉なんていらないのでしょうか。いいえ、もっと深くわかりあいたいなら、やはり言葉が必要です。あれから、彼氏は中国語の勉強をずっと続けています。私も日本語を勉強しています。お互いを深く知りたいと思えば思うほど、愛だけではなく、言葉が必要になると思います。

しかし、言葉さえ出来れば、お互いをわかりあえるのでしょうか。外交官や政治家たちは、外国語を流暢に話せるか、通訳者を伴っています。それなのに、国家はしばしばお互いを誤解します。例えば、日中関係では、今でもいろいろな摩擦があります。中国と日本の外交官は、会談や記者会見では流暢に話していますが、お互いのことを分かり合うことができません。お互いの話を聞いてはいますが、ちゃんと理解しようとはしません。

私の専攻は国際関係なので、このような問題についてよく考えます。たいていの国際関係の学者は国際間の政治では、お互い自分の国の利益しか考えていないと言っています。自分の国のことしか考えていないから、お互いの国の立場について考える余裕がないのではないのでしょうか。そうかと言って、この状況が続いていいわけはありません。中国語が話せなかった私の彼氏が、中国の 70 代の夫婦と仲良くなれたのに、どうして日中の政治関係は険悪化しているのでしょうか。

やはり、どんなに上手に外国語が話せても、愛がなければお互いを理解できないのです。でも、言葉がなければ、自分の気持ちや意見を伝えることもできません。お互いの気持ちを伝え、言いたいことを理解する「言葉」と、お互いを思いやる「愛」、この二つが備わった時、国際恋愛も国際関係もうまくいくのではないのでしょうか。

ありがとうございました。

息子のための嘘

私の夢は UBC を卒業したら、息子と一緒に日本に引っ越し、そこで仕事を見つけて暮らすことです。卒業まで一年間しかないのに、夢の実現のため準備をしなければなりません。しかし、日本の生活に詳しい友達に、日本での就職のアドバイスを求めた時、彼女の返答にショックを受けました。彼女は「もし日本の会社に応募するなら、シングルマザーだということを隠した方がいいよ」と言うんです。確かに、私はシングルマザーです。しかし、それは隠すようなことではないのです。それどころか、私はシングルマザーであることを誇りにしています。何故かというと、シングルマザーという言葉には、一人で子供を育てるための勇気も、粘り強さも、決意も含まれていると信じているからです。だから、隠すべき事だと思ったことはありません。カナダでは、シングルマザーである事で、偏見や差別を経験したことはありませんが、日本ではシングルマザーの生活はどのようなものなのでしょうか。

インターネットで日本のシングルマザーの状況を調べてみたら、「離婚解決」というタイトルのウェブサイトを見つけました。このウェブサイトでは、いわゆる「人間関係再構築支援のプロ」が、離婚しようかどうか迷っている女性に離婚をあきらめさせたいような内容で、シングルマザーになると、どのような苦難に会うかを書き並べています。まず、「一家の大黒柱として働いている」夫と離婚したら、経済的な苦勞をするはずだと決定的な一撃を与えています。

もちろん、私はこのようなウェブサイトには不信を持ちましたので、さらに調べましたが、やはり経済的な苦勞をするのが事実のようです。2015年のジャパントイムズの記事によりますと、夫から養育費を貰っているシングルマザーは、20%しかいません。離婚の約90%が示談で終わっているため、夫に養育費を払ってもらえない場合が多いのです。シングルマザーの活動家の赤石千恵子さんの話によると、日本では児童扶養手当があることはありますが、シングルマザーのおよそ55%が最低生活水準以下の生活を送っているということは、手当が足りない証拠だと主張しています。

別れた夫から養育費を貰わず、児童扶養手当も少ないので、シングルマザーは子供を育てながら、働かなければなりません。ジャパントイムズの記事によりますと、シングルマザーの80%は働いていますが、正社員として働いているのは、そのうちの40%しかいないそうです。常勤の仕事に就くことができても、男女間の賃金格差のため、男性に比べて女性の給料は、6割も少ないということです。

その上に、離婚解決のウェブサイトでは、シングルマザーが働こうとしても、社会的な偏見や差別のため、仕事を見つけるのは簡単なことではないと忠告を与えています。どのような偏見かというと、「シングルマザーより、普通の人を雇った方が何倍もいい」ということや、「離婚するくらいだから、何か人間的に問題があるんじゃないか」などと思われるようです。ウェブサイトでは「人間的な問題」は何なのかと具体的に説明していませんが、次の文を読んだら、見当が付きました。「子供のことも考えず、離婚なんて自分勝手」「結局自分のことしか考えていない人間だ」というのです。

私はシングルマザーは身勝手だと思っている人に、怒りを感じて仕方がありません。多くの女性は、離婚すると経済的な苦難に会うにも関わらず、子供の幸福な将来のため、危険な家庭状況を避けて、シングルマザーになるというのが真実です。シングルマザーは、子供のためなら何でもします。

私はシングルマザーであることを隠すべきだと思わないし、偏見や差別の圧力に負けたくありません。それが私の信念です。しかし、もし日本で、私がシングルマザーであるために、仕事が見つけられなくて、息子を支えられなかったら、私の信念を曲げるしかありません。そのために、嘘でも求職申し込み書には配偶者が「いない」と答える代わりに「いる」と答えるつもりです。私は、息子のためなら何でもしたいんです。

地平線の向こう

「アメリカかぶれ」という言葉をご存じですか。日本での英語教育の発音を例えば「thank you」を「サンキュー」とカタカナで書いて教えてしまうので、生徒たちはカタカナで発音してしまうようです。そして学校で英語の正しい発音をしようとする生徒たちは「アメリカかぶれ」、つまり「アメリカに憧れていて、かっこつけている」とクラスメートにばかにされるそうです。新しい考えを受ける用意がないというのは悲しいとは思いますが、周りの人の努力や他の文化への理解までを拒絶し、否定するのは非常に醜い行為だと思います。現在、日本語を学んでいる私にとって日本の外国語教育にはとても理解しにくい傾向があるようです。

私は小学生のころから言語に興味を持って、何よりも言語と文化の繋がり、言語の美に魅了されてきました。そこから私は、死ぬまで一生続ける日本語、日本文化を学ぶ旅に出ました。皆様も、ある程度日本語や日本の文化に関して拘りや憧れを持つからここにいらっしゃるのでしょう。

明治時代の日本人も言語を学ぶ旅に出ました。現在の日本は高い技術を持つ、世界大国として知られていますが、昔からそうであったのではありません。黒船が訪れてから半世紀もしない間に、日本は奇跡的な近代化を経験しました。しかし、その奇跡は神が起こしたことではなく、そとを向いて言語を通じて文化を理解し、競争する手段や力を手に入れたから成し遂げられたことです。日本は西洋から科学や工学、軍用技術などの専門家を雇い入れる一方で、日本の優秀な人材も言語も学び、西洋の学術を学ぶために、海外へ送り込んだのです。新政府は「知識は力なり」と理解していたのでしょう。

それなのに、それらの先人の苦労や努力を、現代の豊かな社会に甘やかされた生徒は忘れてしまったのでしょうか。明治時代にそうであったなら、ましてや今のこのグローバルな世界においてはなおさら外から目をそらす余裕はないはずです。確かに今の日本は戦争状態にあるわけではありませんが、争いには様々な形があるのです。現在は経済的、政治的な競争が常にあり、勝算をつかむにはまず相手を知ること、つまりその相手の文化や思考を理解しなければなりません。そのためには相手の言語を十分にわかることが必要となるのです。

そこで、日本に憧れを持つ私たちには何かできるのでしょうか。すべきことはあるのでしょうか。そもそも日本人じゃない部外者に口を出す権利はあるのでしょうか。ありますとも！日本は毎年何千人もの ALT、つまり外国語指導助手、を採用しています。BC 州の大学の中でも日本で英語を教えてみたい人は私1人ではないと思います。しかし、日本の英語教育が間違っているから正しくしようというおこがましい考えを持って ALT になる人はいないはずです。言語というのは他人を遮断したり、競争や争いのための道具だけではなく、自分の思想や感情を伝え、人と交流する為の道具です。そんな強力な道具を利用し、楽しく、面白い交流を通して生徒に自分以外の文化に憧れや拘りを持つことは悪いことではないと伝えたいのです。そうすれば、海外の文化を拒絶し軽視することではなく、かつての様に、好奇心を育て、少しでも生徒たちの視野を広げることができるでしょう。長年日本文化や言語を勉強し、そのおかげで幾度と人生を変えた出会いに恵まれました。それがどんなに貴重なことか、何度も実感した私は外国の言語や文化への理解の価値を伝えることで、ずっと憧れてきた国に貢献したいと思います。日本の次の世代が地平線の外を見つめると、想像もできなかった景色が見えてきて、グローバルな時代の世界に奇跡的な変化をもたらし、より輝く未来を作れるでしょう。

液状不安:トランプの政治的成功の本質

「ドナルド・トランプが米国の大統領になることはありえない。」

なお、このような予測はそれほど珍しいことではありませんでした。トランプ氏が大統領になると想像した人はほとんどいませんでした。しかし、事実は小説より奇なりのようなものです。では、どうして米国の市民は、一論理に逆らって、彼を大統領に投票したのでしょうか。今日は要因の一つについてお話したいと思います。

「液状不安」は、現代の最も有名な哲学者の 1 人であるジグマント・バウマン氏によって造語された用語です。現在の状況について不安を感じており、それは曖昧な輪郭しか持たない、だけれどもはっきりと存在しているという感覚です。これは、不確実性が継続している状態であり、頼りになる根拠がなく、堅実な足場を持たない、砂のような地面に立っているという感覚です。

バウマン氏は人間の生活に必要な 2 つの重要な価値について説明しています:安全保障と自由。これらの両方が必要です。自由がない安全保障は奴隷制であり、安全保障のない自由は混沌、つまりあなたは途方に迷い、世間から見捨てられ、何をすべきかわからない感覚です。

今や、私たちは曾祖父母よりもはるかに自由であります。しかし、私たちが持っているこの自由により、結果として多くの安全保障が失われました。

その結果、私たちは「振り子の回転」を見てきました。現在のアメリカの多くの人々は、不安、迷い、確信をもって行動することができず、自身の決断が正しいものであるという確信を持つことができません。

そこに、ドナルド・トランプが登場します。

すべてに対する答えを持っていると主張することによって、彼はこの普遍的な恐怖感を利用しています。「私に力を与えてくれれば、あなたの将来を保証します。心配することはなにもありません」。人々は、「魔法」のようなリーダーを望んだのです。強大な力を行使できる強い人物。政治的正しさに拘束されない人。みんなが何を考えているのかは言うが、公に表現することは敢えてしない人。多くの有権者にとって、トランプ氏はこれらの事柄をすべて体現し、不確実な期間に安全性と明確な方向性を約束する「万能薬」のリーダーだったのです。

「液状不安」の現象に起因するのはシリア、メキシコなどからの難民です。多くのアメリカ人にとって、彼らは人々に不安をもたらします。難民はすべてを失うこと、社会的地位を持たないこと、住む家を持たないことなどの深い恐怖を体現しています。その難民は、不確実な将来の見通しを思い起こさせるのです。

そこにも、トランプが答えを持っています。

彼は難民から自国を守るためにメキシコと国境に壁を建設することを約束しています。シリアの人々の入国を禁止し、アメリカに優先順位をつけ、被害を受けやすい仕事を守ると言っています。難民はより多くの不安を生み出し、これに対して、トランプ氏はアメリカ人に安定した足元、つまり安定した生活を与えると言うのです。

要するに、私はこの「液状不安」の説明が、現在のアメリカに普及する空気を正確に描写していると思います。今日のグローバル化社会がもたらす不確実性を人々は明らかに恐れており、その事実こそがトランプ氏の勢力を増し、最終的に成功するに至らせたのです。

ご清聴ありがとうございました。

400 円の感動

去年の夏下旬、私は日本で今も話題になっている「君の名は。」というアニメ映画と出会い、とっても気に入りました。その物語はシンプルかつよく書かれる話で、さほど深いメッセージが込められているわけでもありません、でもとにかく私はその画面上の世界の虜になって、私らしくもなくたくさんポスターなど周辺グッズを買って帰りました。ところが、友人との雑談でその経験が話題になったとき、私は「絶対初めては映画館で見るべきだ」、「ブルーレイも買うつもり」と話した時、友人はこう答えました。「ああ、ネットで見たわ」、「アホ、金はろうてどないすんねん」と。その意見に、私は開いた口が塞がらなくて、改めて悟りました。ネットの発達と共に成長してきた私達世代の価値観は異常だと。

私達はデータ化できるものであれば、仕事に使うプログラムから、娯楽のための音楽まで、欲しいと思えばなんでもネットでダウンロードできるのが現代の常識だと勘違いしています。「勘違い」と私は称するのは、ダウンロードボタンを押す時は皆誰かから盗んでいるなどとは微塵も思っていないからです。しかし、好きな作品の向こう側にいるスタッフを支持するために、敬意をもってお金を支払おとの発想がなくなっているのではないのでしょうか。例えば、アニメ界のネットフリックスとも言えるクランチロールというアニメ配信サービスがありますが、月に4ドル程度の費用を支払っている登録者は全世界に80万人しかいません。けれど、その4ドルが惜しくて違法ダウンロードに徹している人の多くも、アニメ作品が評価されているわりにはアニメ製作者がろくな生活も送れないという社会問題を承知しています。にも関わらず違法ダウンロードによって著作権を踏みにじることができるのは何故でしょうか。私達はとうとう無意識に一つの作品を成り立たせた努力への当然の感謝の気持ちと、自分がその作品を観たい気持ちと分断させてしまったのです。

皆気持ちが分断しているだけで、悪意を持って海賊版を使っているわけではありません、ただ今までの当たり前もしてきたダウンロードを覆して、二つの気持ちをつなげる機会がないだけです。私には新作のライトノベルの海賊版が待ちきれなくて、アマゾンに支払った400円が小さなきっかけになってくれました。そこから作者へ対する感謝の気持ちが私の心の中に芽生えて、気がつけば簡単にダウンロードできたものでも買うようになれました。けれど、一握り程度の人間しかその気持ちを抱かないと、我々を待っているのは消費者が頭を抱える結末です。アニメを始めとして、人の手から作り出された、アート、芸術は都合よく空から降ってきたものではありませんので、悪意があろうがなかろうが創作に注いだ血、汗、涙が報われなければその業界は衰退して破綻します。それが起こらないためにも、私達がいますべきことは、アニメや漫画に限らず、使ったり、聞いたり、観たりしているもの、特にお気に入りの作品には少なくとも、自分自身が与えられた感動の分と同等の誠意を示して、対価を支払うことです。例えば、思い返すたび映画があなたに与えてくれる胸の高鳴りや、切ない物語に惹かれて流したあなたの涙はいくらですか。それは400円の価値もない安ものですか。

十分日本人じゃない？

皆さん、こんにちは。第 29 回 BC 州日本語弁論大会へお越しいただきありがとうございます。私の名前はアナスタシアです。初めてスピーチコンテストに参加します。よろしくお願ひします。

私はロシア出身で、カナダに引越して来たのは 5 年半前です。日本のニュースに興味を持っていて、よくネットで様々な記事を読んでいます。一年程前に宮本エリアナさんという女性についての記事を見つけて、私は強い影響を受けました。

皆さん、”ハーフ”という言葉をご存知ですか？“ハーフ“と呼ばれる人は日本人と外国人の両親からの混血の人です。2015 年に宮本エリアナさんがアメリカ人のお父さんと日本人のお母さんを持つハーフとして初めてミス・ユニバース日本代表に選ばれました。日本のテレビや新聞では彼女の優勝はその”日本人らしからぬ“見た目のせいで大きな話題になりました。今までの美人コンテストでは一度もハーフの人は選ばれたことがないので、人々の意見は賛否両論でした。エリアナさんが日本で育って、母国語が日本語なのに、“彼女は日本人ではない”とか“もしくは彼女は日本を代表する程の見た目ではない”という意見もありました。その批評は現在日本ではハーフの人たちをどう接するかやどんな苦勞があるか考えさせられました。

日本はほかの国と比べると、日本ほど単一民族国家はありません。しかし事態は段々と変わっています。厚生労働省によると日本では国際結婚の割合が増えています。しかも毎年約 36‘000 人ものハーフの赤ちゃんが生まれていて、その数は日本全出生児の 3 パーセントにも及びます。

大勢の日本人はハーフの人たちに対して固定観念があります：“日本人＋外国人＝ハーフ＝美人”。日本人女性はハーフの外見に憧れているように思います。例えば、大きい目が欲しいとか金髪はいいとか。そのイメージはテレビ番組でよく出るハーフの芸能人の影響があるようです。私が最も言いたいことは大半のハーフの人たちはモデルと芸能人ではなくて一般の人たちです。日本に住んでいるハーフの人たちは言語や日常生活、アイデンティティなどに対して苦勞することがあると思います。

多文化の環境で育った人にとっては有利な点が多いと思います。2か国語を話せるのはもちろんのこと、異文化を理解しやすいという点もあります。学校生活においてはインターナショナルスクールは日本に来る前に外国で生まれ育ったハーフの子供たちに最適ですが、卒業して日本社会になじむのは難しいです。逆に、公立学校に勉強しているハーフの子供たちがよくいじめられることがあります。先ほど述べたエリアナさんは中学校の時ハーフの友達がいじめで自殺しました。

ここでそのトピックを選んだ理由を説明したいと思います。私の恋人が日本人なので、将来子供を授かったらハーフになります。もし日本で住むとなった時、私達の子供にそのようなことが起こりうるのかという心配があります。私の専門は英語とスペイン語の教師で、空いた時間に韓国語と中国語も勉強しています。異文化、特にアジア文化に興味があります。長年色々な言語と文化を勉強していて、カナダのような多文化社会に慣れていて、多様性は一向に珍しくありません。しかし、日本では同じような考え方の人はまだ少ないと思います。人間は自分と違う人を理解しようとして欲しいです。我々は見ただけではなく人柄を重視されるべきだと思います。

以上で、スピーチを終わります。ご清聴ありがとうございました。

人間やめますか

「皆さんは朝起きてまず何をしますか？」これは自己啓(けい)発(はつ)スピーカー サイモン・シネックさんが Y 世代の問題に関するスピーチで投げかけた質問でした。私の答えは携帯のアラームを止め、そのままフェイスブックやインスタグラムをチェックすることでした。2014 年に、ある北米とヨーロッパで行われた調査によると、75%の人が私と同じ答えであるようです。この質問をされて初めて自分がまさかのスマホ依存者・SNS 中毒者だということに気づきました。私は友達の更新やネット上の出来事をすぐ把(は)握(あく)できるように、1日何回もフェイスブックをチェックしています。その結果、携帯がないと落ち着かなかったり、勉強中や寝る前も携帯をイジったりなど、学業の怠(たい)慢(まん)や睡眠不足を引き起こしています。

現在、私たちは SNS の利(り)便(べん)性(せい)と拡散力で 情報を早急に得ることができます。しかし、これが逆に私たちの思考力と判断力を低下させてしまう諸(もろ)刃(は)の剣(つるぎ)にもなります。芸能ニュースから政治に関する情報まで、なぜ私たちは SNS で流れている情報を簡単に信じてしまうのでしょうか。それは、たくさんの人がシェアしているから間違いがないはずだと思うからではないでしょうか。自分で考えたり判断せずに、みんながそう言っているから大丈夫だと鵜呑みにすると、それがあたかも真実であるかようになってしまいます。まさに昨年オクスフォード辞典が選んだ「Post-Truth」-「ポスト真実」ということなのです。ポスト真実とは、客観的な事実 を重視せずに、個人の意見や世論が真実だと思ひこむことです。つまり、事実がどうでもよくなり、重要なのは自分が世の中をどう思うかということです。

特に若い人達は、世の中の出来事を SNS だけを通じて知り、それを信じてしまいます。事実無根の意見を SNS に流し、世論を煽動し、政治的影響を及ぼすことも珍しくはないです。例えば、皆さんがご存知のアメリカだけではなく、私の出身地の台湾も、もはやポスト真実時代になっています。政府が台湾国民を裏切っているという SNS ニュースを、友達が信じて抗議に参加したということが、私には信じられませんでした。また、昨年イギリスの EU 離(り)脱(だつ) もそうです。EU に残れば、週 500 億円もの大きな損失になると、SNS で拡散されていました。しかし、投票後確認したら、それが事実無根ということがわかり、誤信して投票したことを多くの人々が後悔しました。このままでは、私たちは SNS に操られ、自分が信じたいことを真実とする社会に染められてしまいます。

このように、私たちは自分で考える力という人間を人間にする大切なことを失っていませんか。SNS が感覚や判断力などの人間らしさを少しずつ奪っています。このような人間らしくない人間は、日常の様々な場面で ロボットや AI が活躍する現代社会には、いずれ不要になってしまうでしょう。ですから、私たちは自分が感覚や判断力を失ってきている事実を認め、ポスト真実を脱出すべきです。そこで、まずは私と一緒に「朝起きてまずスマホ生活」をやめてみませんか。そして、人間であるためにも、自分で考えることを始めましょう。

じゃあ、今、皆さん、自分で考えてみてください。

あなたは SNS やめますか？それとも、人間やめますか？